

ログインシステム制作パック ver 3

ご利用&カスタマイズマニュアル

【発行】 adbon.net
【著者】 adbon.net
【メール】 info@petabo.com

2011/12/06 改定

【著作権について】

このマニュアルは著作権法で保護されている電子書籍です。
このマニュアルの取扱いにあたり、以下の点にご注意ください。

本マニュアルの著作権は、発行元であるadbon.net(アドボン・ネット)にあります。
許可無く、このレポートの一部または全部をあらゆる手段で複製、流用、転用することを禁じます。
ただし、内容を改編しないことを条件に再配布することを許可します。

【免責事項について】

本マニュアルは、「ログインシステム制作パック」の利用方法、およびそのカスタマイズ方法を記載したものです。

本マニュアルを使用した結果、効果がない場合や、いかなる損害が生じた場合においても、著者及び発行元は一切の責任を負うものではありません。

【目次 1/2】

ログインシステム制作パックの概要 . . . 5p

第1部：インストール編

1. ファイルの解凍とアップロード	6p
2. ファイル属性の変更	7p
3. データベース(MySQL)の新規作成	7p
4. adminにログイン	8p
5. サイト定数の設定	9p
6. メール送信テスト	10p
7. データベース接続設定	11p
8. メールキューイング関連テーブルの作成	12p
9. 認証関連テーブルの作成	13p
10. クーロンの設定	14p

第2部：操作編

1. サイト運営者の登録	16p
2. CMS画面へのログイン	18p
3. 一般ユーザーの会員登録の受付	19p

【目次 2/2】

第3部：カスタマイズ編

- 1. デザインのカスタマイズ方法 20p
- 2. 郵便番号辞書のアップデート方法 21p
- 3. 任意のページにログイン制御を設定する 22p
- 4. 特定権限以上のユーザーのみアクセスできるページを作る方法 . . 23p
- 5. 特定グループのみアクセスできるページを作る方法 24p
- 6. グループ毎にページの見せ方を変える方法 25p
- 7. 特定ディレクトリ以下全てにアクセス制限をかける方法 26p
- 8. WordPressの中の特定の記事のみアクセス制限をかける方法 . . . 28p

第4部：ユーザー管理編

- 1. 一斉メール配信機能 30p

第5部：ユーザーデータ項目の増やし方 33p

その他

- 1. 独自SSLと共用SSLの違い 42p
- 2. ケータイ、スマートフォンの対応について 42p
- 3. ユーザー登録時の項目について 42p

【ログインシステム制作パックの概要】

ログインシステム制作パックとは、ホームページに手軽にログイン機能や、ユーザー管理機能を追加できるシステムパッケージです。

会員制サイトや、アクセス制限(特定のユーザーしかアクセスできない)サイトを構築する場合にご利用ください。

【システムの特長】

1. PHPで作成されたサイト(拡張子.html を.phpに変更しても可)なら、ほとんどのウェブサイト
にログイン機能を付けることができます。
2. ログイン方法を以下から選択できます。
 - (1) メールアドレスでログイン (2) ログインIDでログイン
3. ログイン時間、アイドル時間を設定できます。
4. ユーザー登録の方法を以下から選択できます。
 - (1) 新規登録(仮登録) → 確認メールのURLクリック → 本登録
 - (2) 新規登録(本登録)
5. ユーザーに、1~10の権限レベル(グループ)を付与することができます。
6. 管理画面から、ユーザーリストの表示、ユーザーの検索ができます。
また、ユーザーリストをCSVでダウンロードできます。
7. ログインパスワードを忘れた場合、新パスワードを自動再発行して送信することができます。
8. 「次回から自動でログイン」機能があります。
9. 入出力データのセキュリティ対策
 - (1) HTTPレスポンス分割攻撃対策
 - (2) magic_quotes_gpc対策、先頭/末尾不要文字対策、¥t対策
 - (3) ディレクトリ遡り攻撃対策
 - (4) ヌルバイト攻撃対策
 - (5) XSS対策
 - (6) ¥n¥rを削除し、HTTPレスポンス分割攻撃対策
10. ユーザーに対して、一斉にメール配信ができます。

【第1部：インストール編】

1. ファイルの解凍とアップロード

ダウンロードした、loginsystem.zip を解凍すると、以下9個のフォルダと、5個のファイルが出来ます。

admin/ フォルダ:	システムのコアプログラム群
common/ フォルダ:	システムのコアプログラム群
account/ フォルダ:	ユーザー登録関連のプログラム群
apperror/ フォルダ:	エラー画面のプログラム
cms/ フォルダ:	cmsのプログラム群
login/ フォルダ:	ページ左側フォームからログインする場合の、プログラム群
login_page/ フォルダ:	ログインページからログインする場合の、プログラム群
mypage/ フォルダ:	ログインユーザーのマイページ関連
sample/ フォルダ:	サンプルプログラム群
index.php:	トップページのプログラム
footer.php:	フッターのテンプレート（各ページ共通）
styles.css:	トップページ用のスタイルシート
sample.php:	サンプルプログラム
_htaccess:	.htaccessの参考ファイル

これらを全て、インストールしたいドメインの直下にアップロードしてください。

_htaccessは必要に応じて、.htaccessに変更して利用してください。

2. ファイル属性の変更

前項のファイル群をサーバーにアップロードしたら、次にファイル属性(パーミッション)を以下のように設定してください。

フォルダ、ファイル名	属性値(パーミッション)
admin/	705
admin/common/module/config1.php	600
common/log/	705
common/module/config1.php	600
common/module/config2.php	600
common/module/config3.php	600
common/plugin/dbauth/module/config1.php	600
common/plugin/dbauth/module/config2.php	600
cms/account/upload_temp/	705
cms/account/myphoto/	705

※レンタルサーバーによっては、パーミッションの設定値が制限されている場合があります。その場合には、**レンタルサーバーの設定値**に準拠してください。

※パーミッションに関する**FAQ**もご覧ください → <http://login.petabo.com/faq.php#qno17>

3. データベース (MySQL) の新規作成

契約しているレンタルサーバーの管理画面から、データベース(MySQL)を作成してください。

※データベースの作成方法は、各レンタルサーバーにお問い合わせください。

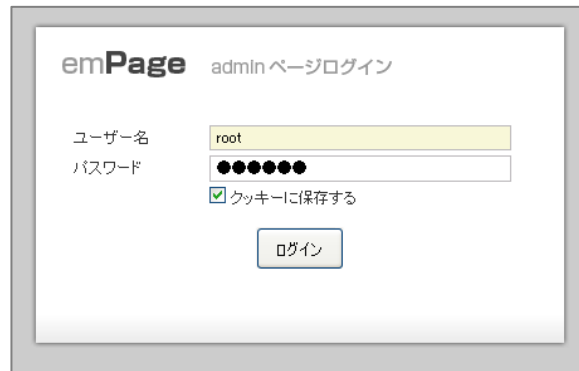
※データベースに関する**FAQ**もご覧ください → <http://login.petabo.com/faq.php#qno7>

4. adminにログイン

ここからは便宜上設置するドメインを「http://www.adbon.net」として説明しますが、各自ご自身のドメインで行ってください。

ブラウザで「http://www.adbon.net/admin/」にアクセスすると、以下のようなログイン画面が表示されますので、**ユーザー名=root**、**パスワード=000000** でログインしてください。

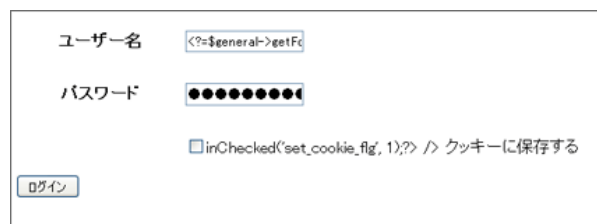
※ユーザー名とパスワードは後で変更することをお勧めします。



【ご注意】

下図のように画面がくずれたような表示がされた場合には、PHPタグの短縮型(<? ?>)が使用不可になっている可能性があります。

これを解決するには、各レンタルサーバーの設定で short_open_tag を有効にするか、同封の `_htaccess` を `.htaccess` に変更して、サーバーのトップディレクトリに配置してください。



5. サイト定数の設定

ログイン後、左メニュー「general」、上部メニュー「サイト定数設定」を選択し、赤枠を参考に以下を入力してください。

ドメイン(http): http://www.adbon.net

ドメイン(https): https://www.adbon.net(注1)

エラーURL: http://www.adbon.net/apperror

(注1)

独自SSLを取得した場合の例です。共用SSLを使用する場合には各レンタルサーバー会社の仕様に合わせてください。SSLを使用しない場合には、https://www～ではなく、http://www～と入力してください。

emPage [ID1:root] | CMS | サイト | パスワード変更 | ユーザー管理 | ログアウト

一般機能設定 (general)

general

拡張機能(クラス名)

dbauth

一般機能設定 (general)

サイト定数設定 DB接続設定 機能タグ

■ サイト定数設定

webサーバ毎にサイト定数を設定してください。

ドメインURL (http)	http://localhost
ドメインURL (https)	https://localhost
エラーURL	http://localhost/apperror システムエラーが発生した場合のリダイレクト先です。

バックエンド sendmail qmail mail

sendmailへのパス /usr/sbin/sendmail

Google Maps API Key Google Map を使用する場合は、APIキーを入力してください(省略可) [設定]

携帯電話ドメイン
docomo.ne.jp d.vodafone.ne.jp h.vodafone.ne.jp t.vodafone.ne.jp r.vodafone.ne.jp
c.vodafone.ne.jp k.vodafone.ne.jp n.vodafone.ne.jp s.vodafone.ne.jp
q.vodafone.ne.jp softbank.ne.jp ezweb.ne.jp auone.jp
@は付けない。複数指定する場合は半角スペース区切り。

シリアルキー
メールに届いたシリアルキーを入力してください。

※: URLの最後は/は含めないでください。

■ メールの送信テスト

システムをインストールしたサーバーから、正常にメールが送信できるかの確認にご利用ください。

宛先メールアドレス [送信]

6. メールの送信テスト

システムからメールが正しく送信できるか確認します。

「メールの送信テスト」欄に受信可能なメールアドレスを入れて、「送信」をクリックしてください。
入力したメールアドレス宛に以下の2通のメールが届けば、メールの送信が可能だと判断します。

1. メール送信テスト(テキストメール)
2. メール送信テスト(HTMLメール)

もし、テストメールが届かない場合には、サーバーの仕様に合わせて、『バックエンド』や『sendmailへのパス』(オレンジ枠の部分)を変更する必要があります。

こちらのFAQも参考にしてください → <http://login.petabo.com/faq.php#qno14>

The screenshot shows the 'emPage' administration interface. The main content area is titled '一般機能設定 (general)'. Underneath, there are tabs for 'サイト定数設定', 'DB接続設定', and '機能タグ'. The 'サイト定数設定' tab is active, showing various configuration fields. A red box highlights the 'バックエンド' (Backend) field, which is set to 'sendmail', and the 'sendmailへのパス' (Sendmail Path) field, which is set to '/usr/sbin/sendmail'. Below this, there is a 'メールの送信テスト' (Email Test) section. A red box highlights the '宛先メールアドレス' (Recipient Email Address) field and the '送信' (Send) button.

7. データベース接続設定

左メニュー「general」、上部メニュー「DB接続設定」を選択し、赤枠を参考にデータベース情報を入力してください。

DB文字コードの設定が必要だったり、mysql拡張モジュールを使用したりする場合も、ここで設定をしてください。

emPage [ID1: root] | CMS | サイト | パスワード変更 | ユーザー管理 | ログアウト

一般機能(クラス名)
general

拡張機能(クラス名)
dbauth

一般機能設定 (general)
サイト定義設定 DB接続設定 機能タグ

運用開始

■ DB接続情報の設定

DBに接続する為の情報を設定します。
DBはあらかじめ用意して、そのものを使用してください。

DBホスト	localhost
DB名称	testdb
DBユーザー	testuser
DBパスワード	testpass
DBポート(省略可)	
DB文字コード (省略時はutf8)	utf8
mysql 拡張	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり

設定

セッションモード
 ファイル管理 DB管理
※セッションモードを「DB管理」に切り替えた後にセッション情報設定テーブルを新規作成した場合、強制ログアウトされる場合があります(セッションID無しの為)。その場合は再度ログインしなおしてください。

Formからの入力
 hiddenで表示 セッションに保存
※連番は「hiddenで表示」を選択してください。

非同期メール送信数
(メールキュー)
25
※この設定は common/module/sendQueueMail.php で参照します。

■ セッション情報設定テーブル (sessions) の作成

セッションモードを「DB管理」にした場合に必要になります。

テーブルはまだ作成されていません

テーブルを作成

■ メールキューイングテーブル (mail_queue) の作成

cronによる非同期メール送信データをキューイングします

テーブルはまだ作成されていません

テーブルを作成

■ メールキューイング管理テーブル (mail_queue_seq) の作成

cronによる非同期メール送信を管理します

テーブルはまだ作成されていません

テーブルを作成

※データベースの作成方法は、各レンタルサーバーにお問合せください。

※データベースに関するFAQもご覧ください → <http://login.petabo.com/faq.php#qno7>

8. メールキューイング関連テーブルの作成

左メニュー「general」、上部メニュー「DB接続設定」を選択し、赤枠を参考にメールキューイング関連のテーブルを作成してください。

このテーブルは、一斉配信メール機能で利用します。

emPage [ID1:root] | OMS | サイト | パスワード変更 | ユーザー管理 | ログアウト

一般機能設定 (general)

サイト定義設定 DB接続設定 機能タグ

運用開始

■ DB接続情報の設定

DBに接続する為の情報を設定します。
DBはあらかじめ用意していたものを使用してください。

DBホスト	localhost
DB名称	testdb
DBユーザー	testuser
DBパスワード	testpass
DBポート(省略可)	
DB文字コード (省略時はlatin1)	latin1
mysql 拡張	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
セッションモード	<input checked="" type="radio"/> ファイル管理 <input type="radio"/> DB管理 ※セッションモードを「DB管理」に切り替えた後にセッション情報設定テーブルを新規作成した場合、強制ログアウトされる場合があります(セッションID無しの為)。その場合は再度ログインをお願いします。
Formからの入力	<input checked="" type="radio"/> hiddenで表示 <input type="radio"/> セッションに保存 ※通常は「hiddenで表示」を選択してください。
非同期メール送信数 (メールキュー)	25 ※この設定は common/module/sendQueueMail.php で参照します。

設定

■ セッション情報設定テーブル(sessions)の作成

セッションモードを「DB管理」にした場合に必要になります。

テーブルはまだ作成されていません

テーブルを作成

■ メールキューイングテーブル(mail_queue)の作成

cronによる非同期メール送信データをキューイングします

テーブルはまだ作成されていません

テーブルを作成

■ メールキューイング管理テーブル(mail_queue_seq)の作成

cronによる非同期メール送信を管理します

テーブルはまだ作成されていません

テーブルを作成

9. 認証関連テーブルの作成

左メニュー「dbauth」、上部メニュー「DB設定1」を選択し、ページ下部の「全テーブル作成」をクリックしてテーブルを作成してください。

以上でデータベースの設定は完了です。

emPage [ID1: root] | CMS | サイト | パスワード変更 | ユーザー管理

認証機能設定 (dbauth)

DB設定1 DB設定2 DB設定3 DB設定4

DB設定5 ユーザーリスト 一斉配信メール 機能タグ

一般機能(クラス名) general

拡張機能(クラス名) dbauth

運用開始

■ 基本情報設定テーブル(dbauth_base)の作成
認証機能の基本情報を設定します
テーブルはまだ作成されていません テーブルを作成

■ ユーザータグ保存テーブル(dbauth_utag)の作成
ユーザー登録時に作成したタグ情報を保存します
テーブルはまだ作成されていません テーブルを作成

■ 権限レベルテーブル(dbauth_level)の作成
10段階の権限レベルを設定します
テーブルはまだ作成されていません テーブルを作成

■ ユーザー情報保存テーブル(dbauth_user)の作成
ユーザー登録時に入力したユーザー情報を保存します
テーブルはまだ作成されていません テーブルを作成

■ DMリストテーブル(dbauth_dmlist)の作成
タブ区切りファイルでアップロードした、DM送信先リストを保存します
テーブルはまだ作成されていません テーブルを作成

運用開始

全テーブル作成 全テーブル削除

<サイト運用時に押す>
DB構築に必要なボタンが
ロックされ、運用中の誤操
作を防ぎます。

※「全テーブル作成」ボタンは、サイト構築時の1度のみ行ってください。
再度「全テーブル作成」を押したい場合には、その前に「全テーブル削除」を押してから行ってください。

10. クーロンの設定

クーロン(cron)設定とは、タイマーで起動するプログラムの設定のことです。

※『一斉メール配信』や、『24時間経過後の仮登録ユーザー削除』処理が不要な場合は、この「クーロンの設定」は不要です。次の章に進んでください。

ここでは以下、3つのプログラムのクーロン設定を行います。

1. common/module/sendQueueMail.php : 一斉メール配信プログラム
2. cms/account/setQueueMail.php : 一斉メールセットプログラム
3. cms/account/deIlnRegiUsers.php : 仮登録ユーザー削除プログラム
(24時間経過しても仮登録中のユーザー削除)

クーロンを動かすには、上記1、2、3ファイルにパスを記述しなくてはなりません。

例えばロリポップならば、ファイルパスが「/home/users/2/lolipop.jp-*****/web/」などです。これは、各レンタルサーバー毎に違うので、詳細はレンタルサーバーにお問合せください。

このファイルパスを 上記1、2、3ファイルそれぞれの13行目に記入して、サーバーにアップロードしてください。

例：テキストエディタで編集

```
7 //  
8 //  
9 //*****  
10 // ページ毎の変数設定  
11 //*****  
12 //$_top_path = "../../" ;  
13 $_top_path = "/home/users/2/lolipop.jp-*****/web/" ; // ★必  
14 include_once("{$_top_path}common/module/general.class.php"); // 対象emPageま  
15  
16  
17 //*****  
18 // メイン処理 (申請中から24時間経過したユーザーの削除処理)  
19 //*****  
20 // コメント
```

クーロンの設定を試みましょう。下図はロリポップレンタルサーバのクーロン設定画面です。このように、入力項目に以下1、2、3ファイルをそれぞれ指定して、「設定」をクリックしクーロンを設定してください。

1. common/module/sendQueueMail.php : 一斉メール配信プログラム
2. cms/account/setQueueMail.php : 一斉メールセットプログラム
3. cms/account/deINoRegiUsers.php : 仮登録ユーザー削除プログラム
(24時間経過しても仮登録中のユーザー削除)

cron設定

cron設定を行うことで、指定した時間に自動でコマンドやプログラムを実行することが可能です。cronは5個設定することが可能です。なお、サーバーに高い負荷がかかるプログラムなどは**禁止事項**に従い、プログラムの実行の停止や、設定解除をさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承ください。

[cron設定 マニュアルはこちら](#)

⚠ cronは、あと2個設定可能です。

cronの設定名	<input type="text"/>
日付(月)	→選択してください→
日付(日)	→選択してください→
曜日	→選択してください→
時間(時)	→選択してください→
時間(分)	→選択してください→
スケジュール	スケジュールを設定してください ⚠ 10分毎を選択した場合、0分 10分 20分 30分 40分 50分に実行します
実行ファイルパス	<input type="text" value="/home/users/2/lolipop.jp-petabo/web/ 以下のパスをご入力ください"/>

「」」「」「」「/」でご入力ください
/」「/」、先頭と末尾に「/」はご利用いただけません

▶ 設定

送信するメールアドレスを設定できます。
通知は行われません。

メールアドレス ▶ 設定

⚠ ドメイン指定受信設定などを行われている場合は、登録前に users021.phy.lolipop.jp からのメールを受信できるように指定受信の設定を行ってください。

クーロンの実行結果(正常/エラー)はブラウザでは確認できません。メールアドレスを指定して、クーロンが正しく動いているか、またクーロンに指定したプログラムが正しく動作しているかなどを、必ず確認してください。

以上でインストールは完了です。

【第2部：操作編】

1. サイト運営者の登録

インストールした後は、以下のURLから、最初のユーザーとして『サイト運営者』権限をもつユーザーを登録してください。

※便宜上設置するドメインを「http://www.adbon.net」として説明しますが、各自ご自身のドメインで行ってください。

サイト運営者（CMSユーザー）登録URL：<http://www.adbon.net/cms/account/>

登録が完了したら、admin画面からそのユーザーに『サイト運営者』権限を付与します。admin画面に入り、左メニュー「dbauth」、上部メニュー「ユーザーリスト」をクリックすると、先ほど登録したユーザーが一覧に表示されますので、右側の「編集」をクリックしてください。

The screenshot shows the emPage admin interface. The left sidebar has 'dbauth' selected under '拡張機能(クラス名)'. The top navigation bar has 'ユーザーリスト' highlighted. Below is a search form and a table of users.

ID	状態	権限レベル	ログイン用メールアドレス	名前	ニックネーム	操作
1	登録中	一般会員	user@ne.jp		user@ne.jp	編集

「編集」をクリックすると、そのユーザーの詳細画面が表示されます。
「権限レベル」リストを選択し、「サイト運営者」を選んで変更登録してください。

emPage [ID1:root] | CMS | サイト | パスワード変更 | ユーザー管理 | ログアウト

一般機能(クラス名)
general

拡張機能(クラス名)
dbauth

認証機能設定 (dbauth)

DB設定1	DB設定2	DB設定3	DB設定4
DB設定5	ユーザーリスト	一斉配信メール	機能タグ

[ユーザーリスト](#) > [ユーザー情報](#)

ログイン情報

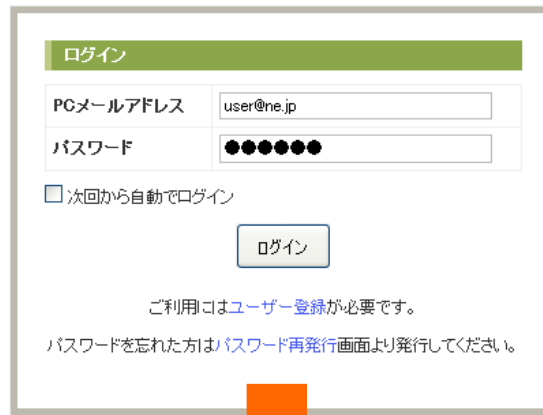
ログインメールアドレス	user@ne.jp
現パスワード	000000
新パスワード	<input type="text"/>
※変更なしの場合は未入力	
新パスワード:再入力	<input type="text"/>
※変更なしの場合は未入力	
登録タイプ	無料
契約タイプ	個人
権限レベル	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"><ul style="list-style-type: none">一般会員システム管理者サイト運営者レベル3レベル4レベル5レベル6レベル7レベル8特別会員一般会員</div>
登録状態	
退会理由	
登録日時	
最終ログイン(ユーザー)	
最終更新日(ユーザー)	
任意退会日時(ユーザー)	
最終更新日(管理者)	2011-09-08 00:02:19
管理用コメント (半角255文字まで)	<input type="text"/>

2. CMS画面へのログイン

以下のURLからCMS画面(サイト運営者画面)にログインできます。

CMS画面ログインURL : <http://www.adbon.net/cms/>

CMS画面は、おもにプラグイン(記事管理やマップ管理)などの操作や投稿に利用します。
※デフォルトでは、「アカウント管理」のみとなります。



The screenshot shows a login form with the following elements:

- Header: ログイン
- Form fields: PCメールアドレス (user@ne.jp), パスワード (masked with dots)
- Checkbox: 次回から自動でログイン
- Button: ログイン
- Text: ご利用にはユーザー登録が必要です。パスワードを忘れた方はパスワード再発行画面より発行してください。



The screenshot shows the 'アカウント管理' (Account Management) page. A red dashed box highlights the 'アカウント管理' menu item in the top navigation bar. A yellow callout box points to the main content area with the text: 「記事管理や、マップ管理プラグインをインストールすると、ここに投稿用メニューが表示される」 (When you install article management or map management plugins, a posting menu will be displayed here).

The main content area includes:

- Header: ログイン System
- Navigation: アカウント管理
- Text: ようこそ user@ne.jp さん | サイトを確認 | ログアウト | 退会処理
- Section: アカウント管理
- Text: アカウント情報を変更します
- Form fields: メールアドレス, ニックネーム (user@ne.jp), 新パスワード, 新パスワード(再入力)
- Text: (半角英数字 4文字以上 / 変更する場合のみ必須)
- Button: 保存
- Footer: Copyright © adbon.net All Rights Reserved. powered by emPage

3. 一般ユーザーの会員登録の受付

以上でサイトの準備は全て終了です。

以下画面遷移図のように、トップページから、**一般ユーザー**の会員登録・ログイン処理・マイページの閲覧・編集が行えます。

※このページは**一般ユーザー**(権限レベル10)専用のページです。サイト管理者の情報変更は「[cms/account/user_set/chgpass.php](#)」からおこなってください。

一般ユーザーアクセス



トップページ
(ページ左にログインフォーム)



会員登録ページ



確認メール再送



パスワード再発行



ログインページ



マイページ ダッシュボード



マイページ 登録情報変更



マイページ 退会処理



【第3部：カスタマイズ編】

1. デザインのカスタマイズ方法

デザイン（HTML）をカスタマイズする場合は、以下のファイルを編集してください。

画面・機能名称	ファイル名（アルファベット順）
パスワード再発行（完了）	account/html/forget_pass_comp.html
パスワード再発行（入力）	account/html/forget_pass_input.html
会員登録（確認）	account/html/new_account_check.html
会員登録（完了）	account/html/new_account_comp.html
会員登録（入力）	account/html/new_account_entry.html
本登録（確認）	account/html/regi_check.html
本登録（完了）	account/html/regi_comp.html
確認メール再送信	account/html/send_regi_url_input.html
トップページ左のログインフォーム（未ログイン）	login/login_form.php
トップページ左のログイン後メニュー（ログイン済）	login/logined_form.php
ログアウト後	login/logout_comp.php
ログインページ（未ログイン）	login_page/login_form.php
ログインページ（ログイン済）	login_page/logined_form.php
ダッシュボード	mypage/index.php
登録情報変更（確認）	mypage/minfo/html/edit_account_check.html
登録情報変更（完了）	mypage/minfo/html/edit_account_comp.html
登録情報変更（入力）	mypage/minfo/html/edit_account_entry.html
退会処理（完了）	mypage/sece/html/secession_comp.html
退会処理（入力）	mypage/sece/html/secession_entry.html
全ページ共通のフッター	footer.php
トップページ	index.php

2.郵便番号辞書のアップデート方法

当サイトのフォームには、「郵便番号」を入力して「検索」をクリックすると、該当の『都道府県』『市区町村』が自動的にセットされる機能があります。

この機能は、MITライセンスである「AjaxZip2」を利用しておりますが、郵便番号のデータは2011年07月時点のものとなっております。

市区町村合併などで、郵便番号が変更された場合、郵便番号辞書もアップデートする必要があります。以下に、ActivePerlを使ったアップデートの方法を記載します。

■ActivePerlのインストール(郵便番号データアップデートの為の準備)

ActivePerlインストール方法

<http://pocketstudio.jp/win/activeperl/>

ActivePerlダウンロードサイト (x86)

<http://www.activestate.com/activeperl/downloads>

ダウンロードしたら、ActivePerlをインストールし、完了したらログオフして、再ログインする。

コマンドラインから perl -v で、バージョンが表示できたら完了です。

■郵便番号データを最新にアップデート(ActivePerlを使用する)

http://www.post.japanpost.jp/zipcode/dl/kogaki/lzh/ken_all.lzh

にアクセスし最新の郵便番号データをダウンロードする。

ダウンロードした ken_all.zip を解凍し、ken_all.csv を account/ajaxzip2/work にコピー
account/ajaxzip2/work ディレクトリに移動し コマンドラインから、csv2jsonzip.pl を実行

ダウンロードした ken_all.zip を解凍し、ken_all.csv を mypage/minfo/ajaxzip2/work にコピー
mypage/minfo/ajaxzip2/work ディレクトリに移動し コマンドラインから、csv2jsonzip.pl を実行

すると、ajaxzip2/data の中の郵便番号データが最新になる。

3.任意のページにログイン制御を設定する

あなたが新しく作成した、任意のページ(拡張子は.php)にログイン制御を設定することができます。

sample.php(ログイン制限なし)

```
<html>
<meta http-equiv="Content-type" content="text/html; charset=utf-8" />
<head><title>テスト</title>
</head>
<body>
<p>これはテストです</p>
</body>
</html>
```



この5行を付けるだけで
ログイン制御を付ける
ことができます。

sample.php(ログイン制御あり)

```
<?php $__top_path = "";?> ①
<?php $form_path = "login/";?> ②
<?php include_once("{$__top_path}common/module/general.class.php");?>
<?php $dbauth->loginOther("{$__top_path}login_page/");?>
<?php include_once("{$__top_path}common/module/pagestart.php");?>
<html>
<meta http-equiv="Content-type" content="text/html; charset=utf-8" />
<head><title>テスト</title>
</head>
<body>
<p>これはテストです</p>
</body>
</html>
```

①はトップページまでの相対パス、②はloginフォルダまでの相対パスとなります。

上記例は、トップディレクトリに sample.php を配置した例です。

sample/sample.php など、第二階層に配置した場合は、①は「../」、「②は「../login/」となります。

4. 特定権限以上のユーザーのみアクセスできるページを作る方法

指定した権限以上のユーザーのみアクセスできるページを作ることができます。

以下のソースは、権限レベル2より上のユーザー(1と2)のみアクセスできるページの作り方です。

sample/sample2.php

```
<?php $__top_path = "../";?>
<?php $form_path = "../login/";?>
<?php include_once("{$__top_path}common/module/general.class.php");?>
<?php $dbauth->loginOther("{$__top_path}login_page/");?>
<?php include_once("{$__top_path}common/module/pagestart.php");?>
<?php $dbauth->checkAuthLevel(3, "../apperror/?eno=12", 2)?>
<html>
<meta http-equiv="Content-type" content="text/html; charset=utf-8" />
<head><title>テスト</title>
</head>
<body>
<p>これは権限レベル1, 2がアクセスできるページです</p>
</body>
</html>
```

この1行を付けるだけで
特定権限以上のユーザーのみアクセスを許
します。

①は権限3超(つまり1と2)を指定しています。

②は①の条件でない場合の、ジャンプ先指定です。サンプルではエラーページを指定しています。

③はチェックモードであり以下の意味になります。

=1: ①より低い、 =2: ①より高い、 =3: ①と同じ

5. 特定グループのみアクセスできるページを作る方法

権限レベルを応用して、特定グループ(特定権限)のユーザーのみアクセスできるページを作ることができます。

以下のソースは、権限レベル3のユーザーのみアクセスできるページのソースです。

sample/sample3.php

```
<?php $__top_path = "../";?>
<?php $form_path = "../login/";?>
<?php include_once("{$__top_path}common/module/general.class.php");?>
<?php $dbauth->loginOther("{$__top_path}login_page/");?>
<?php include_once("{$__top_path}common/module/pagestart.php");?>
<?php $dbauth->checkAuthLevel(3, "../apperror/?eno=12", 3)?>
<html>
<meta http-equiv="Content-type" content="text/html; charset=utf-8" />
<head><title>テスト</title>
</head>
<body>
<p>これはグループ3(権限3)のみがアクセスできるページです</p>
</body>
</html>
```

この1行を付けるだけで
特定グループのユーザーのみアクセスを許します。

①はグループ3(権限3)を指定しています。

②は①の条件でない場合の、ジャンプ先指定です。サンプルではエラーページを指定しています。

③はチェックモードであり以下の意味になります。

=1: ①より低い、 =2: ①より高い、 =3: ①と同じ

6.グループ毎にページの見せ方を変える方法

`$_SESSION[“__auth_level”]`という変数には、ログイン中ユーザーの権限レベルが格納されています。この変数を利用して、条件分岐を行い、グループ(権限)毎にページの見せ方を変更します。

sample/sample4.php

```
<?php $__top_path = “../”;?>
<?php $form_path = “../login/”;?>
<?php include_once(“{$_top_path}common/module/general.class.php”);?>
<?php $dbauth->loginOther(“{$_top_path}login_page/”);?>
<?php include_once(“{$_top_path}common/module/pagestart.php”);?>
<html>
<meta http-equiv=“Content-type” content=“text/html; charset=utf-8” />
<head><title>テスト</title>
</head>
<body>

<?php if($_SESSION[“__auth_level”]==3) {?>①
<p>これはグループ3 (権限3) のみ見れる文字です</p>
<?php }else {?>②
<p>これはグループ3 (権限3) 以外が見れる文字です</p>
<?php }?>③
</body>
</html>
```

- ①はグループ3(権限3)ならば、「これはグループ3(権限3)のみ見れる文字です」を表示します。
- ②は①の条件でない場合の、「これはグループ3(権限3)以外が見れる文字です」を表示します。
- ③は条件分岐の終了を意味します。

7.特定ディレクトリ以下全てにアクセス制限をかける方法

以下のようなディレクトリ構成のファイルがあるとします。

```
sample/dir/sample/  
  +-- index.php (1)  
  +-- index2.php (2)  
  +-- /dir/sample/  
    +-- index.php (3)  
    +-- index2.php (4)
```

上記(1)～(4)のファイルにアクセスできるのは、権限レベル2以上(1,2のみ)にしたい場合には(1)～(4)のファイルの先頭行に、以下のコードを記述します。

```
<?php $__top_path = "../../" ;?>①  
<?php include_once(" {$__top_path}common/module/general.class.php")?>  
<?php include_once(" {$__top_path}common/module/pagestart.php")?>  
<?php $dbauth->urlProtector()?>  
<html>  
<meta http-equiv="Content-type" content="text/html; charset=utf-8" />  
<head><title>テスト</title>  
</head>  
<body>  
<p>これはテストです</p>  
</body>  
</html>
```

この4行を記載します。

①の相対パスの値は、各ファイル毎に設定してください。

次に、左メニュー「dbauth」、上部メニュー「DB設定3」の「アクセス制限URL」を下図のように設定します。

emPage [ID1:root] | CMS | サイト | パスワード変更 | ユーザー管理 | ログアウト

一般機能(クラス名)
general

拡張機能(クラス名)
dbauth

認証機能設定 (dbauth)

DB設定1	DB設定2	DB設定3	DB設定4
DB設定5	ユーザーリスト	一斉配信メール	機能タグ

運用開始

■ アクセス制限URLテーブル (dbauth_url)の作成

アクセス制限を付けるURLを設定します

テーブルは作成済です テーブルを削除

URL毎に、アクセス制限を設定します

管理名称(任意) サンプル

▼ アクセス制限のURL設定 ▼

アクセス制限をかけるURL

アクセス出来なかった時のジャンプ先URL

サブフォルダの制限 サブフォルダも制限かける サブフォルダは制限かけない

▼ アクセス制限のテンプレート ▼

テンプレートの表示位置 表示しない
 左 <?php \$dbauth->dspProtectLMenu0? 機能で表示する
 中 <?php \$dbauth->dspProtectCMenu0? 機能で表示する
 右 <?php \$dbauth->dspProtectRMenu0? 機能で表示する

テンプレートURL

▼ アクセスの可否 ▼

登録タイプ毎の可否
 無料登録ユーザー : アクセス不可 アクセス可
 有料登録ユーザー : アクセス不可 アクセス可

契約タイプ毎の可否
 個人登録ユーザー : アクセス不可 アクセス可
 法人登録ユーザー : アクセス不可 アクセス可

登録状態・登録レベル毎の可否
 未登録ユーザー : アクセス不可 アクセス可
 登録済ユーザー :

設定 削除

これで、前項の(1)~(4)のファイルは、権限レベル2以上のユーザーのみアクセスできるようになりました。

8.WordPressの中の特定記事のみアクセス制限をかける方法

wordpress ディレクトリの中にブログソフトWordPressをインストールし、

記事URL : `wordpress/?p=10`

のみ権限レベル2以上(1,2のみ)にアクセスできるようにしたい場合には
wordpress/index.php の先頭行に、以下のコードを記述します。

```
<?php $__top_path = "../" :?>
<?php include_once("{$__top_path}common/module/general.class.php")?>
<?php include_once("{$__top_path}common/module/pagestart.php")?>
<?php $dbauth->urlProtector()?>
/**
 * Front to the WordPress application. This file doesn't do anything,
 * but loads
 * wp-blog-header.php which does and tells WordPress to load the theme.
 *
 * @package WordPress
 */
```

この4行を記載します。

次に、左メニュー「dbauth」、上部メニュー「DB設定3」の「アクセス制限URL」を下図のように設定します。

emPage [ID1 : root] | CMS | サイト | パスワード変更 | ユーザー管理 | ログアウト

一般機能(クラス名)
general

拡張機能(クラス名)
dbauth

認証機能設定 (dbauth)

DB設定1	DB設定2	DB設定3	DB設定4
DB設定5	ユーザーリスト	一斉配信メール	機能タグ

運用開始

■ アクセス制限URLテーブル(dbauth_url)の作成

アクセス制限を付けるURLを設定します

テーブルは作成済です テーブルを削除

URL毎に、アクセス制限を設定します

管理名称(任意)	サンプル
▼ アクセス制限のURL設定 ▼	
アクセス制限をかけるURL	wordpress/?p=10 <small>ドメインURLより下から入力してください。</small>
アクセス出来なかった時のジャンプ先URL	apperror/?eno=12 <small>ドメインURLより下から入力してください。 例: http://www.hoge.co.jp/top の場合は top</small>
サブフォルダの制限	<input type="radio"/> サブフォルダも制限かける <input checked="" type="radio"/> サブフォルダは制限かけない
▼ アクセス制限のテンプレート ▼	
テンプレートの表示位置	<input checked="" type="radio"/> 表示しない <input type="radio"/> 左 <?php \$dbauth->dspProtectLMenu0?> 機能で表示する <input type="radio"/> 中 <?php \$dbauth->dspProtectCMenu0?> 機能で表示する <input type="radio"/> 右 <?php \$dbauth->dspProtectRMenu0?> 機能で表示する
テンプレートURL	<small>ドメインURLより下から入力してください。 例: http://www.hoge.co.jp/top の場合は top</small>
▼ アクセスの可否 ▼	
登録タイプ毎の可否	無料登録ユーザー : <input type="radio"/> アクセス不可 <input checked="" type="radio"/> アクセス可 有料登録ユーザー : <input type="radio"/> アクセス不可 <input checked="" type="radio"/> アクセス可
契約タイプ毎の可否	個人登録ユーザー : <input type="radio"/> アクセス不可 <input checked="" type="radio"/> アクセス可 法人登録ユーザー : <input type="radio"/> アクセス不可 <input checked="" type="radio"/> アクセス可
登録状態・登録レベル毎の可否	未登録ユーザー : <input checked="" type="radio"/> アクセス不可 <input type="radio"/> アクセス可 登録済ユーザー : 1~2レベルまでアクセス可

設定 削除

wordpress/?p=10のURLは、権限レベル2以上のユーザーのみアクセスできるようになりました。

【第4部：ユーザー管理編】

1. 一斉メール配信機能

登録しているユーザー宛に、メールを一斉配信することができます。

左メニュー「dbauth」、上部メニュー「一斉配信メール」をクリックし、メール情報を追加し、その情報の編集画面を表示します。

The screenshot shows the emPage user management interface. The left sidebar has a menu with 'dbauth' selected. The top navigation bar includes 'ID1: root', 'CMS', 'サイト', 'パスワード変更', 'ユーザー管理', and 'ログアウト'. The main content area is titled '認証機能設定 (dbauth)' and has a sub-menu with '一斉配信メール' selected. Below this is the 'メール詳細' (Mail Details) form, which includes the following fields and options:

- 1. 送信設定: Radio buttons for '送信しない' (selected) and '送信する'.
- 2. 送信予定時刻: A time selector set to '毎 年 毎 月 毎 日 毎 時 0 分'.
- 3. 次回送信日時: 'このメールは送信されません'.
- 4. メール本文 (必須): A text area with a '直接記述' (Direct input) option selected. Below it are conversion rules: [NAME] → 名前 に変換, [KANJI] → 名前(かな) に変換, [NNAME] → ニックネーム に変換, [SITE_HTTP] → サイトドメイン(http) に変換, [SITE_HTTPS] → サイトドメイン(https) に変換.
- 5. 送信先ユーザー: A dropdown menu set to '登録中'.
- 6. 送信先ユーザーの権限 (1つ以上必須): Checkboxes for L1 through L10.
- 7. 送信先ユーザーのニ: A text field with the placeholder 'ニーズがある場合にはここに表示'.
- 8. 送信先 (CSVファイル): A text field with a '参照...' button. Below it are options: 'CSVファイルからアップロードした 送信待ちユーザー 数: 0 件', a checkbox for '送信待ちユーザーを削除', and a link '>> CSVファイルのフォーマット'.
- 9. 送信元名称 (必須): A text field.
- 10. 送信元メールアドレス (必須): A text field.
- 11. 登録: A button at the bottom of the form.

①送信設定

メールを送信するか、しないかの設定を行います。

②送信予定時刻

送信予定時刻を設定します。過去を指定した場合には、即時送信となります。

③メール件名

送信するメールの「件名」を設定します。

④メール本文

メール本文を設定します。管理画面で直接本文を書くこともできますし、サーバー内ファイルを参照することもできます。

⑤送信先ユーザー

登録中： 「メールを受信する」を選択した、状態が「登録中」のユーザー全員に送信します。

強制退： メールを受信有無に関わらず、状態が「強制退」のユーザー全員に送信します。

申請中： メールを受信有無に関わらず、状態が「申請中」のユーザー全員に送信します。

⑥送信先ユーザーの権限

送信先ユーザーのレベルを選択できます。これにより、特定権限レベル(グループ)のみメールを送信することができます。

⑦送信先ユーザーのニーズ

ユーザーが会員登録の際に選択した「ニーズ」が表示されます。このニーズを選ぶことにより、特定ニーズを持つユーザーを選んでメールを送信することができます。

⑧送信先 (CSVファイル)

CSVファイルのアップロードを利用して、メールの宛先「メールアドレス」「名前」を設定することができます。また、メールの送信前ならば、アップロードしたメールの宛先を削除することもできます。

⑨送信元名称

メールの送信元名称を設定します。

⑩送信元メールアドレス

メールの送信元メールアドレスを指定します。

⑪登録

メールの送信予約をします。

送信日時が過去の場合には、即時送信します。

【第5部：ユーザーデータ項目の増やし方】

ここでは、ユーザーデータ項目の増やし方を説明します。若干MySQLの知識を必要とします。

修正対象ファイル

修正するファイルは、以下の9ファイルです。

フォルダ、ファイル名	説明
common/plugin/dbauth/module/define.php	データベース定義ファイル
common/plugin/dbauth/ctl/html/edit_account_entry.html	ユーザー情報編集(admin)
common/plugin/dbauth/ctl/html/edit_account_check.html	ユーザー情報編集確認(admin)
account/html/new_account_entry.html	ユーザー情報登録
account/html/new_account_check.html	ユーザー情報登録確認
account/index.php	ユーザー情報登録処理
mypage/minfo/html/edit_account_entry.html	ユーザー情報編集
mypage/minfo/html/edit_account_check.html	ユーザー情報編集確認
mypage/minfo/index.php	ユーザー情報編集処理

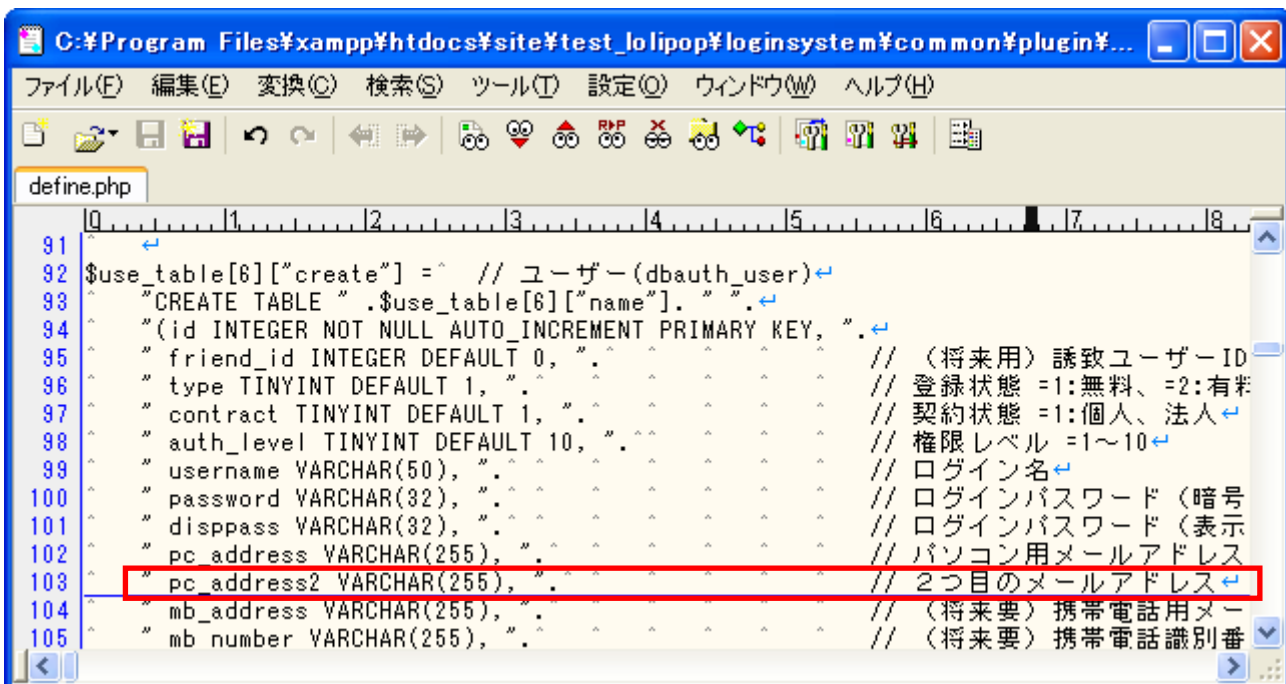
例として、ユーザーデータに新たに『2つ目のメールアドレス』を追加する方法を記載します。

次頁以降、修正ファイル毎に説明します。

「データベース定義」 ファイルの修正

`common/plugin/dbauth/module/define.php` ファイルには、システムに必要なテーブルが定義されています。項目の追加は「ユーザーテーブル(dbauth_user)」に対して行います。

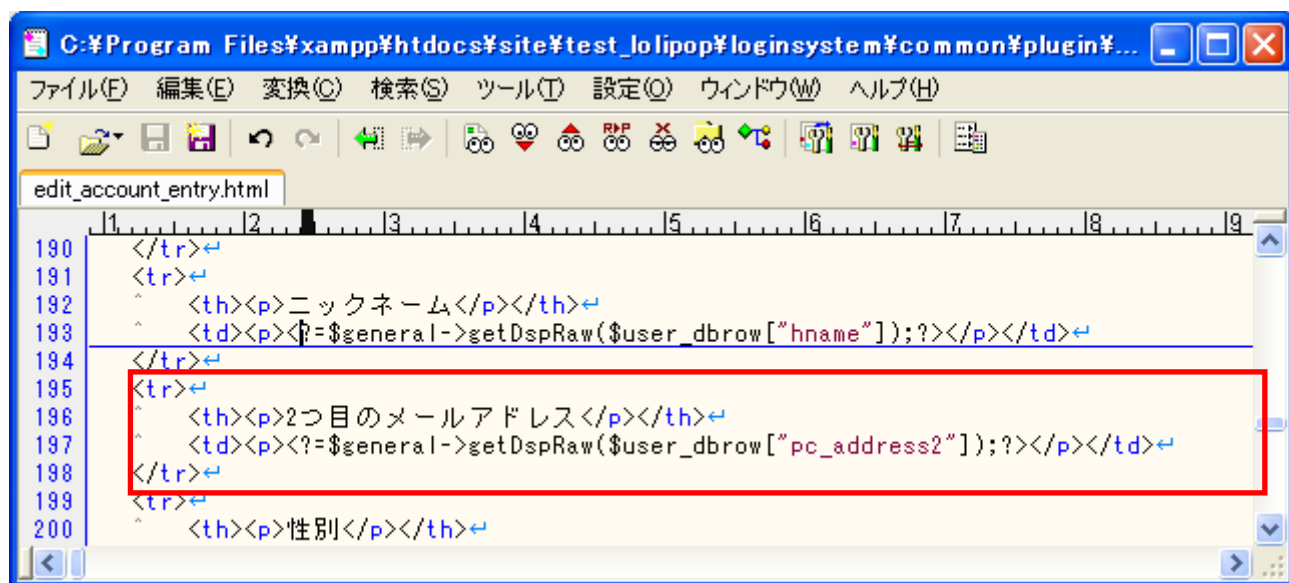
以下のソースコードのように、dbauth_userテーブルに項目(pc_address2)を追加してください。追加する項目は文字列とするので、ここでは型をVARCHARとします。



```
91
92 $use_table[6]["create"] = ^ // ユーザー(dbauth_user)
93 ^ "CREATE TABLE " . $use_table[6]["name"] . " " .
94 ^ "(id INTEGER NOT NULL AUTO_INCREMENT PRIMARY KEY, " .
95 ^ " friend_id INTEGER DEFAULT 0, " . // (将来用) 誘致ユーザーID
96 ^ " type TINYINT DEFAULT 1, " . // 登録状態 =1:無料、=2:有料
97 ^ " contract TINYINT DEFAULT 1, " . // 契約状態 =1:個人、法人
98 ^ " auth_level TINYINT DEFAULT 10, " . // 権限レベル =1~10
99 ^ " username VARCHAR(50), " . // ログイン名
100 ^ " password VARCHAR(32), " . // ログインパスワード (暗号
101 ^ " disppass VARCHAR(32), " . // ログインパスワード (表示
102 ^ " pc_address VARCHAR(255), " . // パソコン用メールアドレス
103 ^ " pc_address2 VARCHAR(255), " . // 2つ目のメールアドレス
104 ^ " mb_address VARCHAR(255), " . // (将来要) 携帯電話用メー
105 ^ " mb_number VARCHAR(255), " . // (将来要) 携帯電話識別番
```

「ユーザー情報編集」ファイル(admin)の修正

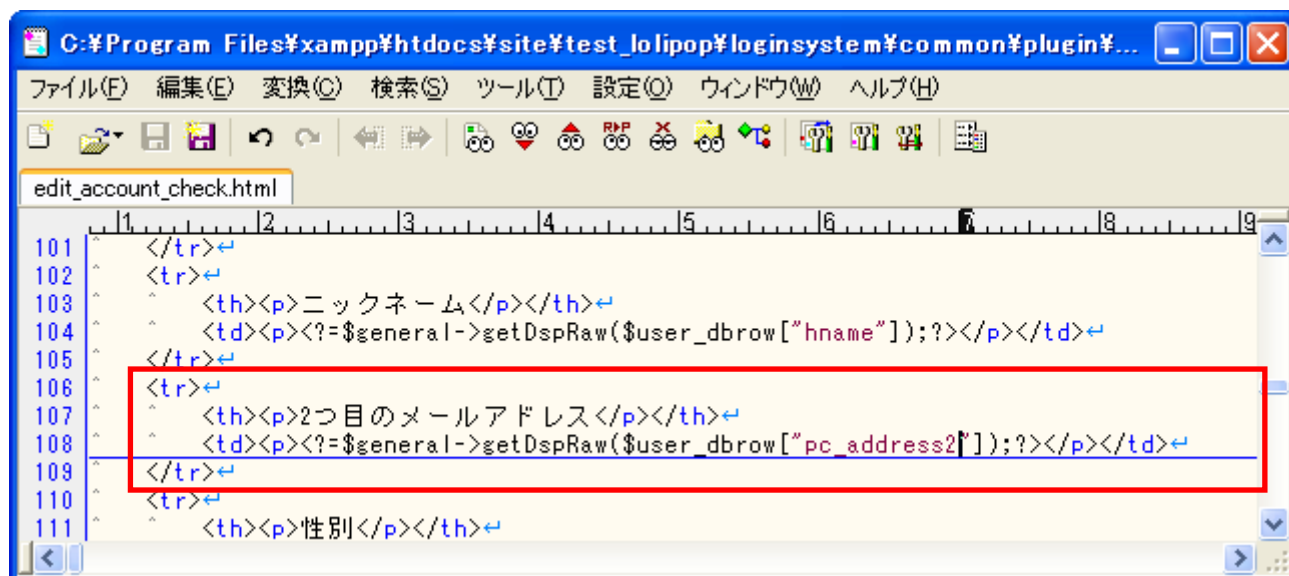
以下のように、common/plugin/dbauth/ctl/html/edit_account_entry.html ファイルにコードを記入してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\common\plugin\...
ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
edit_account_entry.html
190 </tr>
191 <tr>
192 ^ <th><p>ニックネーム</p></th>
193 ^ <td><p>↑=$general->getDspRaw($user_dbrow["hname"]);?</p></td>
194 </tr>
195 <tr>
196 ^ <th><p>2つ目のメールアドレス</p></th>
197 ^ <td><p><?=$general->getDspRaw($user_dbrow["pc_address2"]);?</p></td>
198 </tr>
199 <tr>
200 ^ <th><p>性別</p></th>
```

「ユーザー情報編集確認」ファイル(admin)の修正

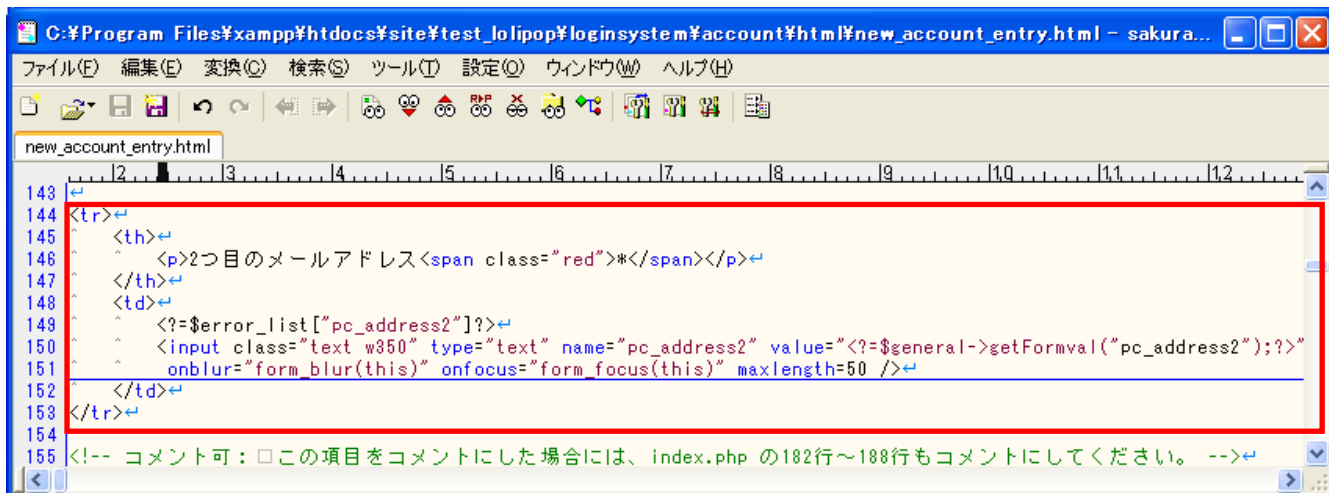
以下のように、common/plugin/dbauth/ctl/html/edit_account_check.html ファイルにコードを記入してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\common\plugin\...
ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
edit_account_check.html
101 </tr>
102 <tr>
103 ^ <th><p>ニックネーム</p></th>
104 ^ <td><p><?=$general->getDspRaw($user_dbrow["hname"]);?</p></td>
105 </tr>
106 <tr>
107 ^ <th><p>2つ目のメールアドレス</p></th>
108 ^ <td><p><?=$general->getDspRaw($user_dbrow["pc_address2"]);?</p></td>
109 </tr>
110 <tr>
111 ^ <th><p>性別</p></th>
```

「ユーザー情報登録」 ファイルの修正

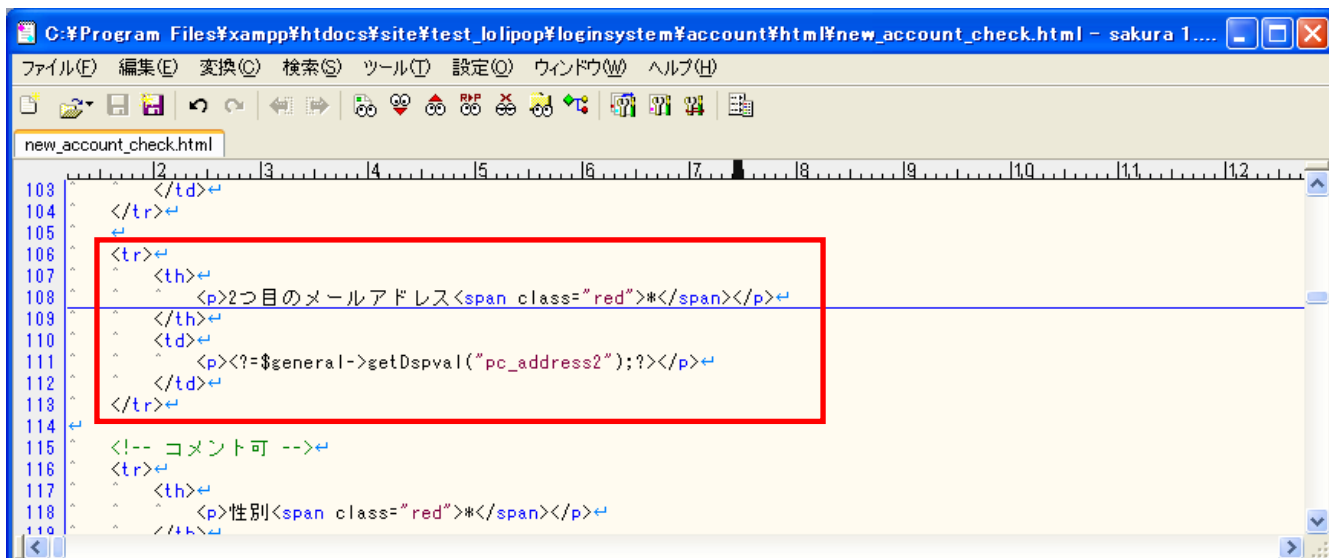
以下のように、account/html/new_account_entry.html ファイルにコードを記入してください。



```
143 <tr>
144 <th>
145 <p>2つ目のメールアドレス<span class="red">*</span></p>
146 </th>
147 <td>
148 <?=$error_list["pc_address2"]?>
149 <input class="text w350" type="text" name="pc_address2" value="<?=$general->getFormval("pc_address2");?"
150 onblur="form_blur(this)" onfocus="form_focus(this)" maxlength=50 />
151 </td>
152 </tr>
153 </tr>
154
155 <!-- コメント可 : □この項目をコメントにした場合には、index.php の182行~188行もコメントにしてください。 -->
```

「ユーザー情報登録確認」 ファイルの修正

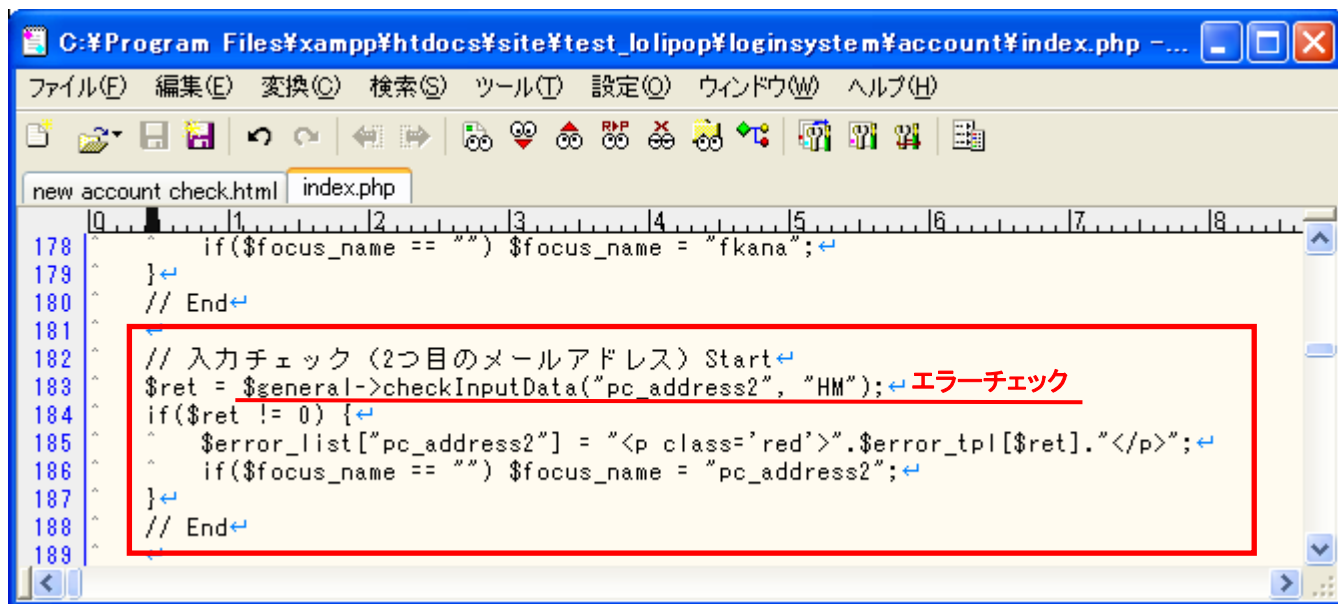
以下のように、account/html/new_account_check.html ファイルにコードを記入してください。



```
103 </td>
104 </tr>
105
106 <tr>
107 <th>
108 <p>2つ目のメールアドレス<span class="red">*</span></p>
109 </th>
110 <td>
111 <p><?=$general->getDspval("pc_address2");?</p>
112 </td>
113 </tr>
114
115 <!-- コメント可 -->
116 <tr>
117 <th>
118 <p>性別<span class="red">*</span></p>
119 </th>
```

「ユーザー情報登録処理」 ファイルの修正

以下のように、account/index.php ファイルにエラーチェックコードを記入してください。
エラーチェックをしない場合には、このコードは不要です。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\account\index.php -...
ファイル(F) 編集(E) 変換(O) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
new account check.html index.php
178     if($focus_name == "") $focus_name = "fkana";
179     }
180     // End
181
182     // 入力チェック (2つ目のメールアドレス) Start
183     $ret = $general->checkInputData("pc_address2", "HM"); ← エラーチェック
184     if($ret != 0) {
185         $error_list["pc_address2"] = "<p class='red'>".$error_tpl[$ret]."</p>";
186         if($focus_name == "") $focus_name = "pc_address2";
187     }
188     // End
189
```

エラーチェックについて

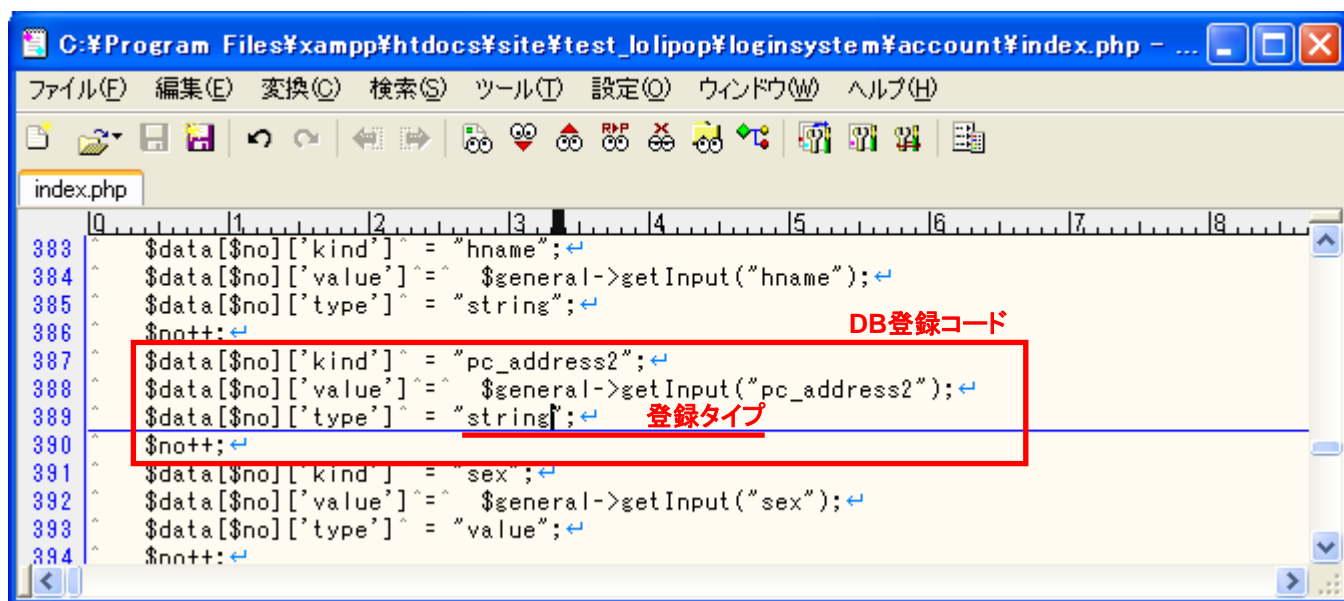
`$general->checkInputData("名前", "モード");` というコードにより、「名前」で指定した入力値のエラーをチェックします。

また、エラーチェックには、以下のモードがあります。

`$general->checkInputData("名前", "H");` . . . 必須チェック
`$general->checkInputData("名前", "Z");` . . . 全角チェック
`$general->checkInputData("名前", "h");` . . . 半角チェック
`$general->checkInputData("名前", "M");` . . . 不正メールアドレスチェック
`$general->checkInputData("名前", "O", 10);` . . . 10文字超過チェック
`$general->checkInputData("名前", "L", 5);` . . . 5文字未満チェック

※H、Z、h、M、O、L は組み合わせても利用できます。

以下のように、account/index.php ファイルにDB登録コードを記入してください。



```
383 $data[$no]['kind'] = "hname";  
384 $data[$no]['value'] = $general->getInput("hname");  
385 $data[$no]['type'] = "string";  
386 $no++; DB登録コード  
387 $data[$no]['kind'] = "pc_address2";  
388 $data[$no]['value'] = $general->getInput("pc_address2");  
389 $data[$no]['type'] = "string"; 登録タイプ  
390 $no++;  
391 $data[$no]['kind'] = "sex";  
392 $data[$no]['value'] = $general->getInput("sex");  
393 $data[$no]['type'] = "value";  
394 $no++;
```

登録タイプについて

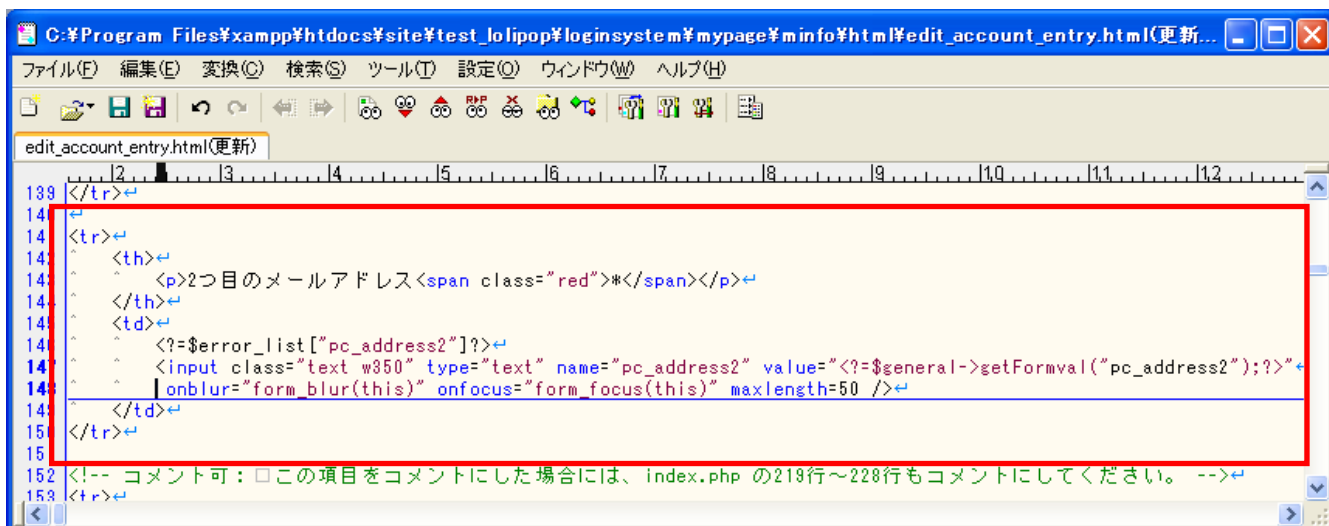
登録タイプは、P34で決めた「型」によります。

VARCHAR、TEXT、DATETIME などは、「string」

INTEGERは、「value」としてください。

「ユーザー情報編集」ファイルの修正

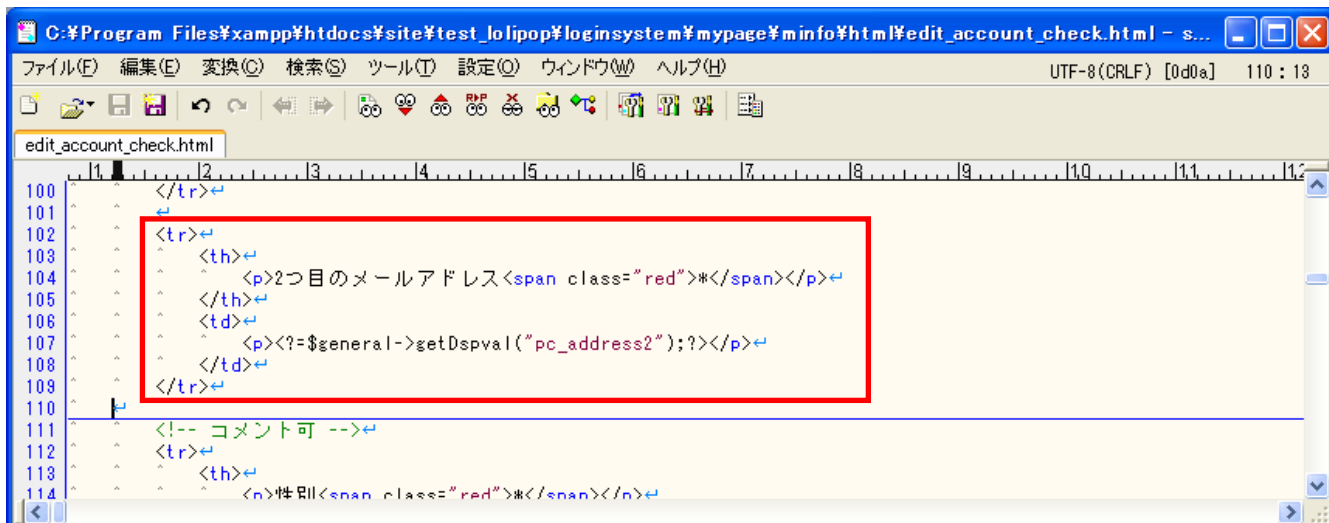
以下のように、mypage/minfo/html/edit_account_entry.html ファイルにコードを記入してください。



```
139 </tr>
140 <tr>
141 <th>
142 <p>2つ目のメールアドレス<span class="red">*</span></p>
143 </th>
144 <td>
145 <?=$error_list["pc_address2"]?>
146 <input class="text w350" type="text" name="pc_address2" value="<?=$general->getFormval("pc_address2");?"
147 |onblur="form_blur(this)" onfocus="form_focus(this)" maxlength=50 />
148 </td>
149 </tr>
150 </tr>
151 </tr>
152 <!-- コメント可: この項目をコメントにした場合には、index.php の219行~228行もコメントにしてください。 -->
153 <tr>
```

「ユーザー情報編集確認」ファイルの修正

以下のように、mypage/minfo/html/edit_account_check.html ファイルにコードを記入してください。



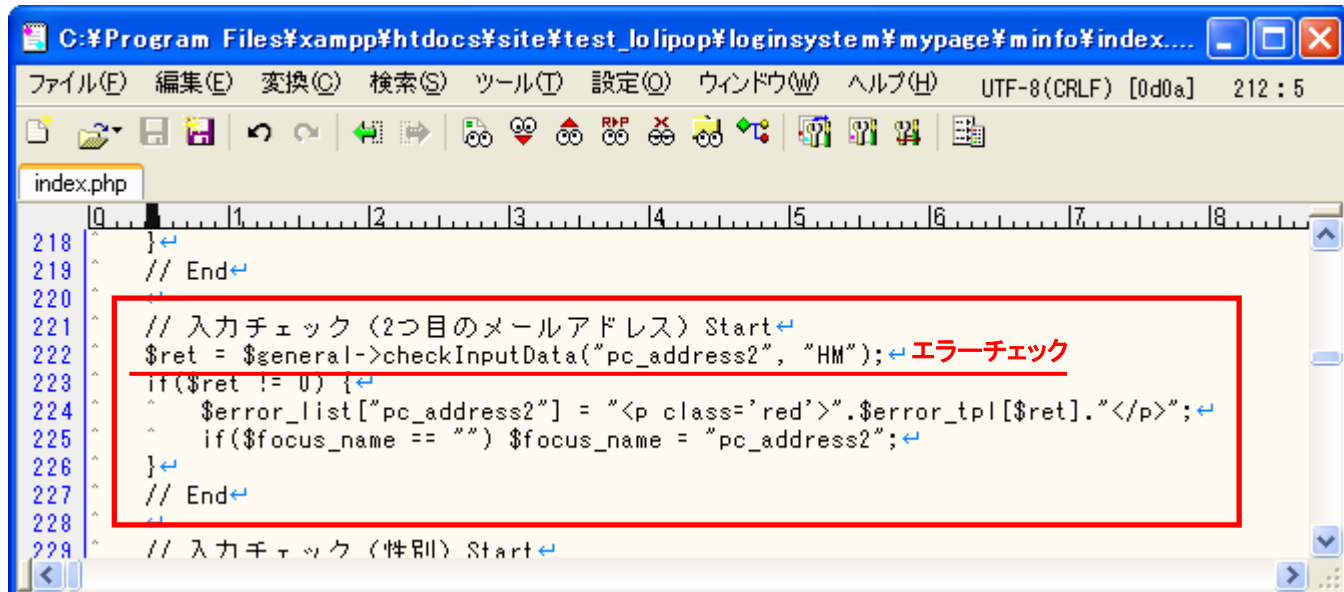
```
100 </tr>
101 <tr>
102 <th>
103 <p>2つ目のメールアドレス<span class="red">*</span></p>
104 </th>
105 <td>
106 <p><?=$general->getDspval("pc_address2");?</p>
107 </td>
108 </tr>
109 </tr>
110 </tr>
111 <!-- コメント可 -->
112 <tr>
113 <th>
114 <n>性別<span class="red">*</span></n>
```

「ユーザー情報編集処理」 ファイルの修正

以下のように、mypage/minfo/index.php ファイルにコードを記入してください。

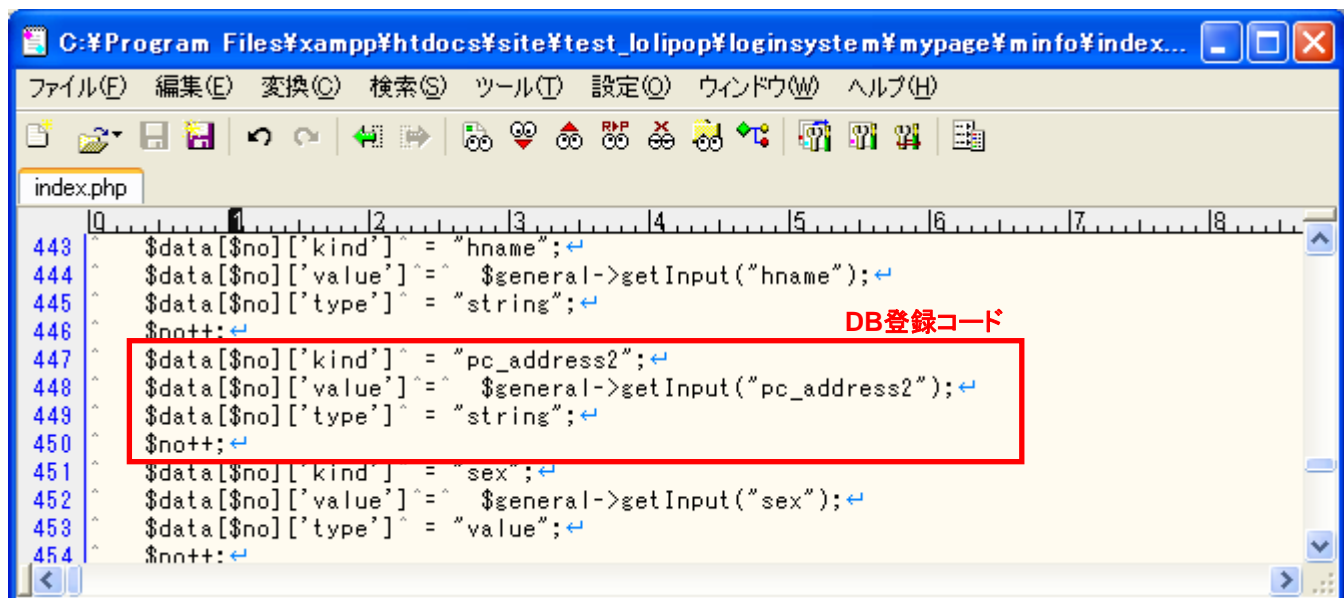
```
55 if($_POST["__ac"] == ""){  
56  
57     // DB内の登録値を取得  
58     $username = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "username");  
59     $fname = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "fname");  
60     $fkana = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "fkana");  
61     $hname = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "hname"); DBから値を取り出し  
62     $pc_address2 = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "pc_address2");  
63     $sex = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "sex");  
64     $type = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "type");  
65     $contract = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "contract");  
66     $auth_level = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "auth_level");  
67     $zip = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "zipcode");  
68     $pref = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "pref");  
69     $address1 = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "address1");  
70     $address2 = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "address2");  
71     $telno1 = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "telno1");  
72     $faxno = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "faxno");  
73     $birth_year = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "birth_year");  
74     $birth_month = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "birth_month");  
75     $birth_day = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "birth_day");  
76     $job = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "job");  
77     $hobby = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "hobby");  
78     $job_other = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "job_other");  
79     $pr = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "pr");  
80     $photo_no = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "photo_no");  
81     $news_flg = $dbauth->getUInfo($_SESSION["__user_id"], "news_flg");  
82  
83     // 値をセット  
84     $general->setInput("new_username", $username);  
85     $general->setInput("fname", $fname);  
86     $general->setInput("fkana", $fkana);  
87     $general->setInput("hname", $hname); 値を項目へセット  
88     $general->setInput("pc_address2", $pc_address2);  
89     $general->setInput("sex", $sex);
```


以下のように、mypage/minfo/index.php ファイルにエラーチェックコードを記入してください。
エラーチェックをしない場合には、このコードは不要です。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\mypage\minfo\index...
ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) UTF-8(CRLF) [0d0a] 212 : 5
index.php
218 }↵
219 // End↵
220
221 // 入力チェック (2つ目のメールアドレス) Start↵
222 $ret = $general->checkInputData("pc_address2", "HM");↵ エラーチェック
223 if($ret != 0) {↵
224     $error_list["pc_address2"] = "<p class='red'>".$error_tpl[$ret]."</p>";↵
225     if($focus_name == "") $focus_name = "pc_address2";↵
226 }↵
227 // End↵
228
229 // 入力チェック (性別) Start↵
```

以下のように、mypage/minfo/index.php ファイルにDB登録コードを記入してください。



```
C:\Program Files\xampp\htdocs\site\test_lolipop\loginsystem\mypage\minfo\index...
ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
index.php
443 $data[$no]['kind'] = "hname";↵
444 $data[$no]['value'] = $general->getInput("hname");↵
445 $data[$no]['type'] = "string";↵
446 $no++;↵ DB登録コード
447 $data[$no]['kind'] = "pc_address2";↵
448 $data[$no]['value'] = $general->getInput("pc_address2");↵
449 $data[$no]['type'] = "string";↵
450 $no++;↵
451 $data[$no]['kind'] = "sex";↵
452 $data[$no]['value'] = $general->getInput("sex");↵
453 $data[$no]['type'] = "value";↵
454 $no++;↵
```

最後に、P13の「認証関連のテーブル」の再作成をおこなってください。

【その他】

1. 独自SSLと共用SSLの違い

レンタルサーバーに契約すると、よく「共用SSL」が無料で利用できようになります。例えばロリポップレンタルサーバーならば、https://lolipop-*****.ssl-lolipop.jp/ などです。共用SSLは、独自ドメインとドメインが違っていると認識されますので、ログイン情報は引き継がれません。つまり共用SSLでログインしても、共用SSL外のページに行くとログインしていない状態になります。

これを解決するには、独自SSLを取得するか、またはログイン中の処理（会員情報など）を共用SSL内で完結するようなページ構成が必要になってきます。

SSLを使用しない、という選択肢もありますね。

2. ケータイ、スマートフォン対応について

本システムのログイン処理は、「クッキー」を利用しています。

ですので、クッキーが利用できるブラウザであれば、基本的にはケータイでもスマートフォンでも利用が可能です。ただし、デフォルトのデザインのままですと、ケータイやスマートフォンには大きすぎるので、デザインのカスタマイズが必要になります。

3. ユーザー登録時の項目について

「新規ユーザー登録」やマイページにある「登録情報変更」の項目で、必要で無い項目はコメントにしてください。

また、デフォルトでコメントにしてある項目「登録の種類」「契約の種類」「権限レベル」のコメントをはずせば、登録の際にユーザーが選べるようになります。

変更対象ファイル

画面・機能名称	ファイル名(アルファベット順)
会員登録(確認)	account/html/new_account_check.html
会員登録(入力)	account/html/new_account_entry.html
登録情報変更(確認)	mypage/minfo/html/edit_account_check.html
登録情報変更(入力)	mypage/minfo/html/edit_account_entry.html